

2026  
年度版

文章検  
後援：文部科学省

# 文章検団体受検 ハンドブック

申し込みから結果到着まで、この一冊でわかる。

1年間、大切に保管してください。

## 目次

文章検の概要……………P.1	実施について……………P.10
2026年度 検定日程 ……P.1	実施についてのQ&A ……P.12
準会場受検……………P.2	結果について……………P.14
文章読解・作成能力検定 準会場規程…P.3	結果についてのQ&A ……P.16
準備・案内・申し込みについて……………P.4	文章検 特別欠席制度について……………P.17
準備から申し込みまでのQ&A ……P.7	特別欠席についてのQ&A ……P.18

## 重要

### 2026年度からの主な変更点

- ・検定料を改定いたします。→P.1
- ・「志願者個別申込・個別決済」サービスが始まります。→P.4
- ・検定料控除制度を改定いたします。→P.6
- ・予備の問題冊子・答案用紙の枚数を変更いたします。→P.10

ご不明点や資料のご請求は、お気軽に下記へご連絡ください。

**漢検** 公益財団法人 日本漢字能力検定協会 <https://www.kanken.or.jp/bunshouken/>

お問い合わせフォーム <https://www.kanken.or.jp/bunshouken/contact/>

■本部 〒605-0074 京都市東山区祇園町南側551番地



お問い合わせは  
こちらから



# 文章検の概要

## 団体受検

受検種別	準会場受検（団体公開会場受検はありません）
受検種別詳細	設置条件を満たしている学校や団体が、自ら団体受検用の会場と責任者を設け実施する。
設置条件 申込資格	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校教育法に定める学校（専修・各種学校を含む）、各省庁所轄の学校および官公庁</li> <li>● 上記以外の団体（塾や企業など）は、協会に準会場設置申請をして承認を得る。（ただし、漢検準会場として既に承認を得ている団体は申請不要）</li> <li>● 「準会場規程」(P.3)の記載内容を遵守することができる団体</li> </ul>
検定会場	準会場（設置条件を満たしている学校や団体が、自ら設けた団体受検用の会場）
受検可能級	2級～4級 ※2級は下表「検定日程」の実施級に記載のある日程のみ
申込条件	2級～4級の準会場での志願者が合計 <b>10名以上</b> 「準会場規程」(P.3)の遵守を誓約すること
検定日程 (下表参照)	協会が用意する日程の中から選択 ●注意● 用意した日程以外での実施は不可
検定時間	2級:90分 準2級～4級:60分
検定料控除制度	団体の経費負担を補助する制度。検定料から以下が控除できる。※詳細はP.6▶ <ul style="list-style-type: none"> <li>● 検定運営手数料</li> <li>● 申込代行手数料</li> </ul> ●注意● 志願者から検定料を割り引いて集金することは不可
申込方法	インターネットのみ P.4▶
検定料払込方法	「団体一括決済方式」の場合、検定日の約2週間前に発送される請求書兼払込取扱票で、検定日前日までに払い込む。P.6▶
合否の通知	検定実施から約40日後を目安に受検者全員分の検定結果資料が一括で担当者に届く。

## 検定日程

### 2026年度

	検定日	受付開始日	申込締切日(協会必着)	会場	検定級	
団体受検	第1回	2026年7月15日(水)	2026年4月1日(水)	2026年6月19日(金)	準会場	準2～4級
	第2回	2026年10月30日(金)	2026年7月1日(水)	2026年10月2日(金)	準会場	準2～4級
		2026年11月13日(金)		2026年10月19日(月)	準会場	準2～4級
	第3回	2027年1月29日(金)	2026年11月1日(日)	2027年1月4日(月)	準会場	準2～4級
		2027年2月10日(水)		2027年1月15日(金)	準会場	準2～4級
		2027年2月14日(日)★		2027年1月18日(月)	準会場	2～4級
個人受検	2027年2月14日(日)	2026年12月4日(水)	2027年1月10日(日)	公開会場	2～4級	

- ・ 団体受検の申込条件を検定日ごとに満たせば、複数検定日にお申し込みいただけます。  
例)2027年1月29日(金)10名 2月10日(水)10名
- ・ いかなる場合も同一級は同一時間に実施してください(同じ級を複数の時間で実施することはできません。併願者がいる場合は、時間の設定にご注意ください)。
- ・ 日曜日(★の日程)に準会場受検を実施する場合の検定時間は、公開会場の検定時間(P.3参照)に準じて実施してください。
- ・ 準会場のお申し込みには「準会場規程」(P.3)の遵守を誓約する必要があります。

変更点

### 各級のレベルと検定料

級	レベル	級の目安	合格基準	検定時間	準会場検定料	公開会場検定料
2級	高等教育で高度な教養を主体的に身につけるために、あるいは、社会人として求められる文章作成を行うために必要な総合的な文章読解力及び文章作成力。	高校卒業、大学、一般程度の語彙力(漢検2級)のある学生向き	200点満点 70%程度	90分	5,500円	6,500円
準2級	より高度な学習を目指すために、あるいは、実社会での有効なコミュニケーションを実現するために必要な文章読解力及び文章作成力。	高校在学程度の語彙力(漢検準2級)のある生徒向き	200点満点 70%程度	60分	4,500円	5,500円
3級	高校での積極的な理解・表現活動、知的言語活動のために、あるいは、実社会におけるコミュニケーション活動を行うために必要な文章読解力及び文章作成力。	中学校卒業程度の語彙力(漢検3級)のある生徒向き	200点満点 70%程度	60分	4,500円	5,500円
4級	読む・書く活動を円滑に行い、基礎的な知的言語活動を行うために必要な文章読解力及び文章作成力。	中学校在学程度の語彙力(漢検4級)のある生徒向き	200点満点 70%程度	60分	3,500円	4,500円

※検定料は税込

# 準会場受検

## 準備から結果到着までの流れ

準会場受検 2級～4級の志願者が合計 <b>10名</b> 以上必要		「団体専用ページ」でできること
<b>準備</b> ▶ P.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 申込資料が到着 ※資料の不足があれば協会までご連絡ください。</li> <li>● 団体内で文章検についての情報や実施目的を共有し、検定日や受付期間を決定する ※検定日はP.1をご覧ください。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の受検結果の確認</li> <li>・繰越者の確認</li> </ul> <b>活用例</b>
<b>案内・募集</b> ▶ P.4	検定日 約2か月前 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 生徒へ検定日や受付期間・申込方法を案内する</li> </ul> <b>◆「文章検 受検案内」を配布 ◆「ポスター」を掲示</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が何級まで合格しているかを確認できるため、受検級を決める際の参考にすることができます。</li> </ul>
<b>申し込み</b> ▶ P.4	<b>申込締切日</b> 検定日 約1か月前 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「準会場規程」(P.3)の遵守を誓約のうえ、検定料支払方式(志願者個別決済方式・団体一括決済方式)を選択し、申込締切日までに協会へ申し込む。 ※申込内容の変更については、P.8のQ.8をご確認ください。</li> <li>● 「団体専用ページ」にて申込受領状況を確認</li> </ul> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content;">           受検の際に特別な配慮が必要な志願者がいる場合は、協会へお問い合わせください。(P.7)         </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定の申し込み</li> <li>・申込受領状況の確認</li> </ul>
<b>検定料払込</b> ▶ P.6	検定日 約2週間前 <「団体一括決済方式」の場合> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 請求書兼払込取扱票が到着</li> <li>● 検定料を払い込む(検定日前日まで/請求書兼払込取扱票を使用)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・請求書兼払込取扱票の発送予定日の確認</li> </ul>
<b>検定実施準備</b> ▶ P.10	検定日 数日前 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 問題冊子・答案用紙・「準会場の手引き」*などが到着 → 内容・部数を確認</li> <li>● 受検者へ、会場(教室)や集合時間を連絡</li> <li>● 会場(教室)の準備</li> </ul> ※「準会場の手引き」 検定実施の流れや注意点などが記載されています。運営に携わる方は、検定日当日までに必ずお読みください。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定問題の発送予定日の確認</li> <li>・検定実施に関する書類のダウンロード</li> </ul> <b>活用例</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「準会場の手引き」を試験監督者の人数分プリントアウトする。</li> <li>・「名簿ファイル」から座席表を作成する。</li> </ul>
<b>検定実施</b> ▶ P.11	<b>検定日当日</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「準会場規程」(P.3)を遵守し、「準会場の手引き」に沿って検定を実施</li> <li>※申込間違い(受検級の間違い/申込漏れ)がある場合は、P.13のQ.9をご確認ください。</li> <li>※欠席者への返金はできません。</li> <li>※準会場の実施状況を確認するため、協会関係者が全国の準会場を訪問しています。訪問する場合は、事前にご連絡します。ご協力をお願いします。</li> <li>● 受検者分の答案用紙などを協会へ返送 ※問題冊子・答案用紙に同梱される「答案用紙返送用 着払伝票」をご使用ください。</li> <li>● (約5日後)文章検ホームページにて標準解答を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協会での答案受領日の確認</li> <li>・合否結果の公開予定日の確認</li> </ul>
<b>結果返却</b> ▶ P.14	検定日 約30日後 <ul style="list-style-type: none"> <li>● WEB合否結果公開 ※担当者のみ閲覧可能です(受検者が閲覧することはできません)。</li> </ul>	<b>ここが便利</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定結果資料の到着より一足先に合否結果がわかります。</li> <li>・合否結果をダウンロードし、データで保管することができます。</li> </ul>
	検定日 約40日後 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 検定結果資料と標準解答が到着 → 受検者へ配付(欠席者には標準解答を配付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検定結果資料の発送予定日の確認</li> <li>・繰越者の確認</li> </ul>

この規程(以下、本規程)は、公益財団法人 日本漢字能力検定協会(以下、協会)が主催する文章読解・作成能力検定(以下、検定)の「準会場」受検について、その基本的事項を定めることにより検定の厳正さ・公平さを保つことを目的としています。

団体責任者および実施責任者は、準会場での検定実施にかかる一切の責任を負うこととなります。実施責任者は本規程に従い、厳正かつ公平に検定を実施してください。協会関係者が全国より任意に選出した準会場を訪問し、実施状況などについて確認することがあります。本規程に違反した場合は、当該準会場の受検者全員を失格とします。また、協会が主催するすべての検定について、準会場の認定を取り消すことや、悪質な場合には協会が法的手段を講じることがあります。

## 第1章 準会場について

### 1. 準会場の定義

- 本規程における「準会場」とは、次を指します。
  - 学校教育法に定める学校(専修・各種学校を含む)、各省庁所轄の学校および官公庁
  - 前号以外の団体で、協会に準会場設置申請をして承認を得たもの

### 2. 準会場の要件

- 「準会場」として協会が認定するためには、申請団体が以下の要件を備えることを必要とします。
  - 検定実施に適した会場(教室・部屋)を自ら用意できること
  - 団体責任者および実施責任者、その他検定受検人数に応じた監督者等を用意できるなど、検定を厳正に運営できる体制が整っていること
  - 団体責任者および実施責任者は成人であること(学生不可)
  - 本規程の遵守を誓約できること
  - 検定申込の際に、その条件である人数以上の志願者を集められること
  - 協会、志願者および保護者等、関係者からの問い合わせに対応できること
  - その他、協会の指示・通知等を遵守できること

### 3. 準会場の遵守義務

- 「準会場」は、以下の事項を遵守する必要があります。
  - 本規程に従い、厳正かつ公平な検定運営を行うこと
  - 検定志願者募集に際しては、準会場であることを明確にし、公開会場であるとの誤認を招かないよう努めること

### 4. 準会場認定の取り消し

- 協会は、準会場が以下の事項に該当する場合、その認定を取り消すことがあります。
  - 準会場より認定取り消しの申し出があったとき
  - 本規程に違反する行為が認められたとき
  - 検定料の支払いを遅滞し、督促したにも関わらずこれに応じないとき
  - 準会場設置申請の内容に虚偽の記載があったとき
  - 反社会的勢力との関わりが判明したとき
  - その他、準会場実施を継続するうえで好ましくない行為と協会が判断し、改善を求めたにも関わらずこれに応じない、もしくは改善されないとき

### 5. 個人情報の取り扱い

- 実施責任者は検定に関する個人情報については、適正に管理し、漏洩などの問題が生じた場合には、その一切の責任を負うこととなります。
- 団体受検において得た個人情報(合否結果、成績など)を利用する(合格者一覧の掲示、合格級を内申書に記入する、検定結果を進路指導に利用する等)場合は、その利用内容について志願者(16歳未満の場合は志願者および保護者)の同意を得なければなりません。

## 第2章 準会場実施について

### 1. 検定日

- 問題冊子、答案用紙に記載された検定日以外に実施してはなりません。いかなる例外も認められません。

### 2. 検定実施時間

- 検定は次の時間で行ってください。2級:90分間、準2・3・4級:60分間
- 遅刻した受検者も他の受検者と同じ時刻に終了しなければなりません。
- また、検定開始後30分(2級は45分)未満の途中退室者は棄権(答案は無効)となります。(詳細は、「6. 遅刻者と棄権者への対応」を参照)
- 同一級を複数の時間帯に分けて実施することは認められません。併願者がいる場合であっても、同一級の受検者は、開始時刻と終了時刻を合わせてください。また、複数会場で実施する場合も、同一級は同一時間に実施してください。
- 開始時刻は以下のとおり設定してください。

#### <平日と土曜日の検定>

開始時刻は問いません。

#### <日曜日の検定>

公開会場と同一の問題を使用するため、下記の検定時間に準じて実施してください。ただし、許容範囲内(2級は公開会場の検定開始時刻より前後90分間、準2~4級は前後60分間)において、開始時刻を調節することは可能です。

公開会場(日曜日)の検定時間	
2級	10:00~11:30(90分)
準2級	10:00~11:00(60分)
3級	10:00~11:00(60分)
4級	10:00~11:00(60分)

例:2級は8:30~11:30の間に開始すること  
4級は9:00~11:00の間に開始すること

### 3. 受検級

- いかなる場合も、同一人物が同一検定日に同一級を重複して受検してはいけません。受検した場合はいずれも失格とします。実施責任者は申込時に重複受検者がいないことを確認してください。ただし同一回の検定であっても、検定日や級が異なる場合は受検可能です。

例:一人の受検者が、同じ検定日に違う準会場で3級を2回受検することは認められません。

- いかなる場合も、同一人物が同一検定日・同一時間に複数級を受検してはいけません。受検した場合はいずれも失格とします。併願者がいる場合は、級ごとに検定実施時間を分けてください。(詳細は、「2. 検定実施時間」を参照)

例:一人の受検者が、同じ検定日の同じ時間帯に3級と4級を受検することは認められません。

### 4. 会場・監督の手配、準会場規程の理解

- 検定の実施に適切な会場の手配をしてください。
- 1教室につき1名以上の監督者を配置してください。
- 実施責任者以外に監督者が必要な場合はその手配をしてください。
- 監督者全員が本規程と「準会場の手引き」を熟読し、あらかじめ検定実施の流れと要点を理解したうえで、厳正かつ公平に検定を実施してください。
- 監督を含め、検定問題の受け取りから答案返送までの一連の作業に関わる方は検定を受検することができません。
- 事前に協会の承認を得た場合を除き、会場には監督者および受検者以外の入室は認められません。

### 5. 不正行為の防止

- 受検者が以下のような不正と疑わしき行為を行わないよう、厳重に監視してください。
  - 検定開始前に問題冊子・答案用紙に手を触れる行為
  - 携帯電話・スマートフォン(スマートウォッチ含む)やその他電子機器類の使用
  - 参考書、問題集などの閲覧
  - 荷物に手を触れる行為
  - 監督者の指示に従わない行為
 上記の行為を行った者には注意を促し、指示に従わない場合や繰り返し行う場合は退場させ、失格としてください。また、明らかに不正行為が認められる場合はすぐに退場させ、失格としてください。なお、不正行為が検定日後に判明した場合は協会に連絡してください。

### 6. 遅刻者と棄権者への対応

#### <遅刻者への対応>

- 検定開始後30分(2級は45分)までに到着した者には、検定残り時間での受検を許容してください。30分(2級は45分)経過後に到着した者は検定会場に入室させず欠席としてください。遅刻で開始時刻が遅れた受検者も、ほかの受検者と同じ時刻に終了させてください。

#### <棄権者への対応>

- 検定開始後30分(2級は45分)未満の途中退室者は棄権とし、答案は無効としてください。ただし体調不良等考慮すべき点が大い場合は棄権とせず、答案は有効とし、退室を許容してください。再入室はできません。

### 7. 検定料

- 協会が公式WEBサイト等で公開する申込締切後の欠席者・失格者・棄権者に対する返金や申し込みの取り消しは、入金の有無に関わらず、いかなる理由であっても行いません。
- 検定料の払い込みが確認できない場合、検定結果資料の発送やWEB合否結果の公開、次回の検定申込ができません。

### 8. 問題冊子と答案用紙の取り扱い

#### <取り扱い・保管>

- 問題冊子、答案用紙は検定日までに受け取ってください。
- 問題冊子、答案用紙、その他の送付物は到着後に枚数と内容を確認し、確認後は検定開始まで、問題の内容(出題形式を含む)について一切漏洩が無いよう鍵のかかる場所に厳重に保管してください。
- 送付した答案用紙以外(コピーした答案用紙や他の会場番号・団体名が印字された答案用紙など)や、他の受検者の氏名・生年月日が印字された答案用紙で解答することはできません。万一解答されても無効となり、採点することはできません。
- 問題の漏洩防止のため、検定終了後、問題冊子は必ず回収し、検定日の翌日以降に受検者に返却してください。
- 協会の許可なく問題冊子、答案用紙を複製することはできません。

#### <返送>

- 受検者全員の答案用紙がそろっていることを必ず確認し、その他返送の必要な書類とともに漏れなく検定日当日または遅くとも翌日中に漏れなく返送してください。連絡がなく遅れた場合、返送された答案を無効と判断することがあります。また、答案用紙を回収、返送するまでの間、解答内容に一切手を加えてはなりません。

### 9. 天災などの緊急時

- 地震や火災などの緊急事態が発生した場合は、受検者を安全な場所へ速やかに避難させた後、協会に問い合わせ、指示に従ってください。
- 検定日当日、休校や学級閉鎖により検定の実施が困難になった場合は、それが決定した時点で協会に問い合わせ、指示に従ってください。

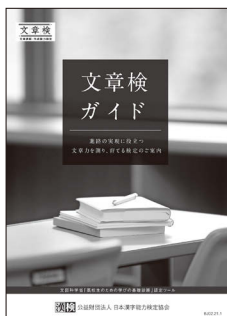
### 10. 検定結果資料の取り扱い

- 団体受検の検定結果資料はすべて申込団体へ発送します。すみやかに受け取り、受検者全員にもれなく配付してください。

以上

# 準備・案内・申し込みについて

## STEP 1 検定日や受付期間を決定し、生徒に案内する



### ■ガイド

指導者向けのパンフレットです。



### ■受検案内

生徒・保護者向けのパンフレットです。  
生徒に配付してください。



### ■ポスター

教室・廊下に掲示してください。

※資料画像はイメージです

各種資料はこちらからダウンロード・ご請求いただけます。



## STEP 2 申し込む(インターネット申込のみ)

### 注意

- 協会が主催する検定(漢検・文章検)を初めてお申し込みになる場合は、協会へお問い合わせください。
- 締切日後に申込内容を変更することはできません。

### ●「団体専用ページ」にログインしてください。

「団体専用ページ\*」にアクセスし、「団体 受検申込」から検定名選択画面にて「文章検」を選択してください。ログインには会場番号・パスワードが必要です。(パスワードがわからない方はP.16のQ.1参照。) ※ 漢検と文章検は共通の会場番号・パスワードです。

\*「文章検HP>団体受検のご案内」からアクセスしてください  
(<https://portal.kanken.or.jp/Dantai/Account/LogOn>)。  
「インターネット申込手順マニュアル」もダウンロードできます。



### ●「検定料支払方式」を選択してください。

申込方法	手順	特長
<p><b>NEW</b> \ おすすめ /</p> <p><b>インターネット申込</b> (志願者個別決済方式)</p>	<p>①「団体専用ページ*」にアクセスし、団体内締切日を設定のうえ、志願者に<b>団体ごとに発行される申込用URLを配付</b>します。</p> <p>②<b>志願者自身が申込用URLにアクセスし、申込情報を入力</b>のうえ、<b>検定料の支払い</b>を行います。</p> <p>*「文章検HP&gt;団体受検のご案内」からアクセスしてください (<a href="https://portal.kanken.or.jp/Dantai/Account/LogOn">https://portal.kanken.or.jp/Dantai/Account/LogOn</a>)。 「インターネット申込手順マニュアル」のダウンロードもできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●志願者からの申込用紙の回収や検定料の集金が不要です。</li> <li>●団体内締切日を設定すれば、あとは自動で志願者の申込情報が「団体専用ページ」に連携され、申込完了することが可能です。</li> <li>●必要に応じて、担当者にて志願者の申込・支払状況を確認できます。</li> <li>●検定料控除制度(検定運営手数料、申込代行手数料)の対象です。(P.6を参照)</li> <li>●繰越権利も志願者自身で利用可能です。</li> </ul>
<p><b>インターネット申込</b> (団体一括決済方式)</p>	<p>①「団体専用ページ*」にアクセスし「団体受検申込」から<b>担当者が志願者の申込情報を取りまとめ、お申し込み</b>ください。</p> <p>②検定日の約2週間前に届く「請求書兼払込取扱票」にて<b>担当者が検定料を取りまとめてお支払い</b>ください。</p> <p>*「文章検HP&gt;団体受検のご案内」からアクセスしてください (<a href="https://portal.kanken.or.jp/Dantai/Account/LogOn">https://portal.kanken.or.jp/Dantai/Account/LogOn</a>)。 「インターネット申込手順マニュアル」のダウンロードもできます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●締切日当日まで申し込みができます。</li> <li>●締切日当日まで、担当者にて申込内容を変更できます。 ※いずれも日付が変わる前に申し込みを変更・完了させてください。</li> <li>●検定料控除制度(検定運営手数料、申込代行手数料)の対象です。(P.6を参照)</li> </ul>

● 志願者情報の有無についてお選びください。 ※どちらを選択しても検定結果資料は同じものです。

団体一括決済方式

**注意**

※志願者の中に繰越者\*が含まれる場合は、志願者情報「有」を選んでください。

\*繰越者とは、以前の実施の際に特別欠席(P.17)を申請し、承認された欠席者のことです。繰越者を含むお申し込みの場合はP.7をご覧ください。

志願者情報  
「有」

**検定前の準備・当日の実施が簡単です!**

生年月日は西暦でご入力ください

**申し込みに必要な情報** 全志願者の「受検級」「氏名」「フリガナ」「生年月日(西暦)」「性別(※任意)」

■志願者の「氏名」「生年月日(西暦)」が、あらかじめ答案用紙に印字されます。  
※他人の答案用紙を使用して受験することはできません。万一、別の方が受験された場合、その答案は無効となり採点ができません。

■問題送付時に受検者の名簿をお届けします。受検者の出欠確認等に活用できます。

●**受検者名簿(級別)**  
学年・クラスに関わらず、受検級ごとに受検番号順で出力されます。

受検級	番号	受検者氏名	出欠	備考	受検級	番号	受検者氏名	出欠	備考
2級	200001	赤井 太郎			準2級	210001	青井 三郎		
2級	200002	伊藤 花子			準2級	210002	今井 桃子		
2級	200003	上田 次郎			準2級	210003	植木 菊子		
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

※並びのイメージ

志願者が合計30名以上かつ、ご希望の団体様にのみ、以下の名簿もお送りします。

●**クラス単位の受検者名簿**  
学年・クラス・受検級ごとに受検番号順で出力されます。

※学年・クラスは、アルファベット(大文字・小文字)と数字で区別されます。高校生と中学生が一緒に申し込み場合などは学年の前にアルファベットをつけることで区別してください。  
※クラスは桁の少ないものから並べられ、同じ桁数の場合は「数字→アルファベット」の順になります。

※並びのイメージ

受検級	番号	受検者氏名	出欠	備考	受検級	番号	受検者氏名	出欠	備考
(3-1)					(3-2)				
2級	200001	赤井 太郎			2級	200003	上田 次郎		
2級	200002	伊藤 花子			2級	200004	江藤 桜子		
準2級	210001	青井 三郎			準2級	210003	植木 菊子		
準2級	210002	今井 桃子			準2級	210004	榎本 四郎		
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

●**ここが便利** 学年・クラスを登録されていた場合、志願者が30名未満の団体様も含め「正答率分析表」が学年・クラス別に集計されます(P.15参照)。

クラス単位の受検者名簿を「希望する」場合、検定結果資料はクラスごと、受検級ごと、受検番号順(昇順)に梱包してお届けします。

志願者情報  
「なし」

**申込準備が簡単です!**

**申し込みに必要な情報** 級別志願者数

■志願者の「氏名」「生年月日(西暦)」等は、検定当日に受検者が答案用紙に記入します。  
※検定結果通知や合格証書等の氏名は、受検者が答案用紙に記入した情報をもとに印字します  
(ひらがなや略字で書かれた場合でも、そのまま印字します)。

※氏名の漢字についてのおことわり

答案用紙や検定結果資料への氏名の印字にはJIS2004第1・第2水準の漢字と人名用漢字を使用しています。そのため、その他の漢字が氏名に含まれている場合は答案用紙への氏名の印字はできず、空白や「●」に置き換えています(検定結果資料は記載のとおり印字します)。当日、正しく書き直してください。書き直す際の詳しい記入方法は、問題冊子・答案用紙に同梱している「準会場の手引き」をご確認ください。

## 受検番号の振り方について

受検番号の振り方は申込方法により異なります。

### ●インターネット申込(志願者個別決済方式)

受検級ごとに志願者がお申し込みされた順  
(団体内締切日翌日以降、協会の定める申込締切日までは「団体専用ページ」の申込画面上で並べ替えが可能)

### ●インターネット申込(団体一括決済方式)

「団体専用ページ」の申込画面での受検級ごとの入力順  
(申込締切日までは画面上で並べ替えが可能)

## 答案用紙の梱包順序について ~志願者情報「有」かつ、クラス単位の名簿を「希望する」場合~

答案用紙は受検級ごとに、受検番号順(昇順)に梱包します。ただし、志願者が30名以上の場合は、申込画面で「級ごとの受検番号順」「クラスごと、級ごとの受検番号順」のいずれかを選択できます。

※問題冊子はいずれの場合も級別に梱包されます。

## STEP 3 申込受領状況を確認する

志願者個別決済方式

団体一括決済方式

「団体専用ページ」から確認できます。 ※申し込んだ検定日が合っているか必ずご確認ください。

## STEP 4 検定料を払い込む

団体一括決済方式

申込時の級別人数、検定運営手数料・申込代行手数料の希望状況をもとに団体ごとの請求額を算出し、検定日の約2週間前に「三井住友カード株式会社 決済ステーション 払込票発送担当」より請求書兼払込取扱票(専用の払込票)をお送りします。金額をご確認のうえ、検定日前日までに払い込んでください。金額に誤りがある場合は、早急に協会までご連絡ください。請求書兼払込取扱票はゆうちょ銀行またはコンビニエンスストアでご利用いただけます。

### 検定料控除制度について 変更点

団体の経費負担を補助する検定料控除制度があります(志願者から検定料を割り引いて集金することは不可)。

●「インターネット申込(団体一括決済方式)」の場合、通常、検定料総額から検定運営手数料と申込代行手数料を差し引いてご請求いたします。

- ・検定運営手数料：申込手続や検定日当日の運営費用

新規志願者数	10~19	20~29	30~49	50~79	80~109	110~139	140~169	
検定運営手数料	4,000	8,000	10,000	12,000	15,000	20,000	25,000	
新規志願者数	170~199	200~229	230~259	260~289	290~319	320~349	以下30名増すごとに	
検定運営手数料	32,000	39,000	46,000	53,000	63,000	73,000	10,000円増	

※新規志願者数とは繰越者を除いた新たな受験申込者数をいいます。(繰越者につきましてはP.7をご確認ください)

- ・申込代行手数料：インターネット申込時の情報データ化への協力に対する費用  
検定運営手数料の15%(志願者情報「有」申込の場合は20%)

#### ■ 計算方法

$$\text{検定料総額 (新規志願者から集金)} - \left( \begin{array}{l} \text{検定運営手数料 (A)} \\ \text{申込代行手数料} \\ \text{・インターネット申込の場合: (A)の15\%} \\ \text{・インターネット申込かつ志願者情報「有」申込の場合: (A)の20\%} \end{array} \right) = \text{請求額}$$

#### ■ 計算例

例1 新規志願者3級(4,500円)10名・インターネット申込・志願者情報「有」申込/検定運営手数料・申込代行手数料を差し引いて支払う場合

$$\begin{array}{l} \text{検定料総額} \\ 45,000\text{円} \\ (4,500\text{円} \times 10\text{名}) \end{array} - \left( \begin{array}{l} \text{検定運営手数料} \\ 4,000\text{円} \\ \text{申込代行手数料} \\ 800\text{円} \\ (4,000\text{円} \times 20\%) \end{array} \right) = \begin{array}{l} \text{請求額} \\ 40,200\text{円} \end{array}$$

例2 新規志願者3級(4,500円)10名、インターネット申込・志願者情報「なし」申込/検定運営手数料・申込代行手数料を差し引いて支払う場合

$$\begin{array}{l} \text{検定料総額} \\ 45,000\text{円} \\ (4,500\text{円} \times 10\text{名}) \end{array} - \left( \begin{array}{l} \text{検定運営手数料} \\ 4,000\text{円} \\ \text{申込代行手数料} \\ 600\text{円} \\ (4,000\text{円} \times 15\%) \end{array} \right) = \begin{array}{l} \text{請求額} \\ 40,400\text{円} \end{array}$$

例3 新規志願者3級(4,500円)9名、繰越者3級1名の計10名・インターネット申込・志願者情報「有」申込/検定運営手数料・申込代行手数料を差し引いて支払う場合

$$\begin{array}{l} \text{検定料総額} \\ 40,500\text{円} \\ (4,500\text{円} \times 9\text{名}) \end{array} - \left( \begin{array}{l} \text{検定運営手数料} \\ 0\text{円} \\ \text{申込代行手数料} \\ 0\text{円} \end{array} \right) = \begin{array}{l} \text{請求額} \\ 40,500\text{円} \end{array}$$

● 検定料総額での支払いを選択することもできます。

「インターネット申込(団体一括決済方式)」の場合は、検定運営手数料・申込代行手数料が団体に残るよう請求します。両経費が不要の場合は、申込時に「検定料総額を支払う」にチェックをしてください。

※申込締切日翌日以降に欠席が判明した場合も検定料が発生します。また、払い込まれた検定料は返金できません。

※請求書兼払込取扱票に記載されている口座は請求書兼払込取扱票利用のための専用口座です。協会からお送りする請求書兼払込取扱票を使用せずに専用口座に入金することはできません。銀行振込をご希望の場合は、P.9のQ.12をご確認ください。

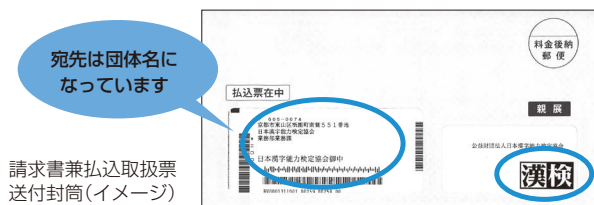
※請求書兼払込取扱票に印字されている金額は担当者の判断で訂正しないでください。

※検定料の払い込みが確認できない場合、WEB合否結果の公開や検定結果資料の発送ができません。

※法令により、ゆうちょ銀行で10万円を超える払い込みには団体の証明書類が必要となります。

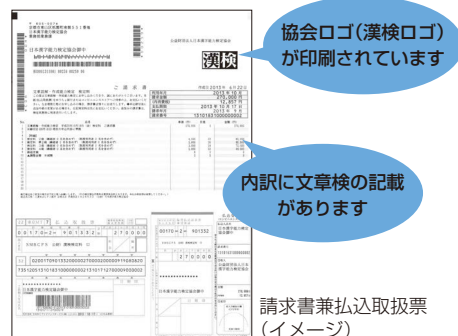
※コンビニエンスストアでは30万円を超える払い込みができません。ゆうちょ銀行から払い込んでください。

※請求書兼払込取扱票をお届けする封筒は漢検・文章検共通です。両方の検定を申し込まれた場合は、必ず内訳をご確認ください。



請求書兼払込取扱票 送付封筒(イメージ)

協会ロゴ(漢検ロゴ)が印刷されています



請求書兼払込取扱票 (イメージ)

#### 志願者個別決済方式 の場合

申込時には自動的に検定料総額での支払いとなりますが、控除金(検定運営手数料・申込代行手数料)を受け取ることが可能です。(P8のQ.10をご確認ください)。

## 準会場における受検特別措置について

身体的な理由により通常受検方法では受検が困難である志願者に対し、特別措置（答案用紙の白黒コピーや拡大コピー、問題冊子の拡大コピー、スキャナーやマークリーダーを通さず答案用紙を直接見て採点するなど）を講じています。ただし、この措置により採点基準が変わることはありません。

この特別措置による受検を希望する場合は、該当検定日の申込締切日までに申請をする必要があります。申請方法など詳細は協会までお問い合わせください。

## 繰越者を含む申込方法

### 繰越者とは

以前の実施の際に特別欠席（P.17）を申請し、承認された欠席者のことです。最新の繰越者の情報は「団体専用ページ」で確認することができます。

### ●繰越者に関する注意事項

#### A. 繰越者の繰越条件

- ・繰越権利は、同一団体・同一検定内で受検する場合のみ有効です。個人受検や漢字検定への変更、会場番号が異なる団体での受検はできません。
- ・欠席した検定日と繰越受検を希望する検定日の協会締切日の期間が3週間以上あれば、繰り越せます。

#### B. 繰越者を含めて申し込む場合の注意点

- ・必ず志願者情報「有」でお申し込みください。
- ・繰越者を含め、10名以上の志願者が必要です。
- ・繰越者は検定料控除制度の対象に含まれません。  
（例：新規志願者5名＋繰越者5名の場合、控除金は0円です）
- ・繰越権利を有する志願者を新規志願者として申し込みをした場合、申込締切日翌日以降は繰越者に変更することはできません。

#### C. 繰越者が受検級を変更する場合の検定料

- ・「特別欠席が承認された級（当該検定において志願した級）」の検定料と「今回申し込む級」の検定料に差額がある場合は請求いたします。  
※2025年度以前に特別欠席制度で取得した繰越権利を利用し、申し込みをされる場合においても、検定料改定に伴う差額分の検定料請求が発生します。
- ・「特別欠席が承認された級（当該検定において志願した級）」の検定料より、「今回申し込む級」の検定料が安価な場合、差額の返金はいたしません。

### ■申込方法

- 1 志願者情報選択の画面で、「志願者情報『有』」を選択してください。
- 2 操作方法については、「インターネット申込手順マニュアル」\*をご確認ください。  
\*「文章検 HP > 団体専用ページ」からアクセスしてください。  
(<https://portal.kanken.or.jp/Dantai/Account/LogOn>)  
「インターネット申込手順マニュアル」はダウンロードもできます。

## 準備から申し込みまでの Q & A Q.1～Q.14

### Q.1 検定日は自由に決められますか？

A

協会が用意した検定日（P.1参照）の中からお選びください。選択した検定日以外の日に実施することは認められません。万一異なる日に実施したことが判明した場合には、受検者全員を失格とし、漢検・文章検の準会場認定を取り消すことがあります。

### Q.2 志願者全員が同じ級でなければいけませんか？

A

いいえ。全員同じ級でなくてもかまいません。

### Q.3 受検級の併願はできますか？

A

検定時間が重ならなければ併願可能です。ただし、同一級を複数の時間帯に分けて実施することはできません。併願者がいる場合であっても、同一級の受検者は開始時刻と終了時刻を合わせてください。  
※併願者のみ別の時間帯で検定を実施すると準会場規程違反となり、当該準会場の受検者全員が失格となりますのでご注意ください。詳しくは「準会場規程」(P.3)をご確認ください。  
※日曜日の検定は公開会場の検定時間に準じて実施しなければならないため、各級の検定時間の開始時刻を許容範囲内において調節（2級は8:30～11:30の間に開始、準2～4級は9:00～11:00の間に開始）してください。

## Q.4 同じ受検者が学校と塾など2つ以上の会場で受検できますか？

**A** 検定日が異なれば問題が異なりますので、2つ以上の会場で同じ級を受検することができます。ただし、同じ検定日に同じ級を、異なる会場(学校と塾など)で重複して受検した場合は、両方とも失格となります。

## Q.5 保護者など在校生以外の方も受検できますか？

**A** 在校生以外の方も一緒に受検できます。ただし、結果は担当者に一括でお届けしますので、結果配付まで対応していただく必要があります。

## Q.6 受検級はどのように決めればよいですか？

**A** P.1の各級のレベルを参考に、文章検ホームページ掲載の問題例や協会発行の問題集に挑戦し、その結果をもとに受検級を決定されることをおすすめしています。  
最終目標となる級に向かって、生徒一人ひとりの力にあわせて級からステップアップすることで、着実に力をつけることができます。さらに、合格することで文章力に自信が付き、学習意欲の向上につながります。

## Q.7 検定料の請求額の計算や払い込みはどのようにしたらよいですか？

**団体一括決済方式**

**A** 検定料の計算は協会で行います。検定日の約2週間前に請求書兼払込取扱票をお送りしますので、検定日前日までに払い込んでください。申込締切後の受検級の変更や受検者の追加などで、検定料に不足金が生じた場合は、P.13のQ.9をご覧ください。

## Q.8 申込間違い(受検級の間違い／申込漏れ)が判明しました。申込内容の変更はできますか？

**団体一括決済方式**

※ **志願者個別決済方式** の場合は、P.13のQ.9参照。

**A** ●申込締切日当日まで 申込画面より変更をしてください。変更を完了する都度、申込完了メールが送信されます。  
●申込締切日翌日以降 P.13のQ.9をご覧ください。

## Q.9 申込時に「検定料総額を支払う」(または「検定運営手数料・申込代行手数料を差し引く」)を選択しましたが、後から変更できますか？

**団体一括決済方式**

**A** 申込締切日の1週間後まで変更を承ります。協会までお問い合わせください。なお、期日を過ぎますと、変更できません。その場合は、Q.10の方法をご検討ください。

## Q.10 検定料控除制度の検定運営手数料・申込代行手数料のいずれかのみ、または必要な経費分だけ控除金を受け取ることはできますか？

**A** **団体一括決済方式** の場合→可能です。以下【ア】【イ】のいずれかの方法をご検討ください。



WEBフォームはこちら

### 【ア】不要な控除金を返納する方法

- ①申込時に、「検定料総額を支払う」にチェック☑をしないでお申し込み
  - ②検定日の約2週間前に届く請求書兼払込取扱票(専用の払込票)で、控除金を差し引いた請求額を支払う
  - ③検定終了後(必要な経費精算後)、不要な控除金を協会に返納(銀行振込)する
  - ④返納後1週間以内に、返納した金額をWEBフォームに入力し、協会へ提出する。
- ※振込先はP.9のQ.12をご確認ください。

### 【イ】必要な経費を請求する方法

- ①申込時に、「検定料総額を支払う」にチェック☑をして申し込み
- ②検定日の約2週間前に届く請求書兼払込取扱票(専用の払込票)で、検定料総額を支払う
- ③WEBフォームから申請する
- ④請求した金額を受け取る

※請求可能な金額の上限は、控除金(検定運営手数料+申込代行手数料)から所定の手数料を差し引いた金額です。請求可能な金額が不明な場合は、協会までお問い合わせください。

※経費の請求は当年度中に限ります。第3回検定は当年度の3月末までにご請求ください。

**NEW**

**志願者個別決済方式** の場合→ご申請により控除金を受け取ることが可能です。

- ①WEBフォームから申請する
- ②請求した金額を受け取る

※請求可能な金額の上限は、控除金(検定運営手数料+申込代行手数料)から所定の手数料を差し引いた金額です。請求可能な金額が不明な場合は、協会までお問い合わせください。

※経費の請求は当年度中に限ります。第3回検定は当年度の3月末までにご請求ください。

Q.11

経理上、特別な書類が必要です。

団体一括決済方式

- ・見積書・納品書を発行してほしい
- ・協会の公印が押印された請求書を発行してほしい
- ・(学年ごとなど)請求書を分けて発行してほしい

A

申込締切日までにWEBフォームからご申請ください。  
ただし、発行方法や内容に制約事項がございますので、以下の「■発行可能な請求書について」をご確認ください。



WEBフォームは  
こちら

## ■発行可能な請求書について

書面の様式	書面の種類	書面の制約事項	支払可能機関	手数料
任意の金額に分けた複数枚の請求書を発行	請求書兼払込取扱票(専用の払込票)のみ	・請求金額のみ記載(級ごとの内訳などの記載は不可) ・宛名・送付先の変更不可(申込団体名・問題送付先住所への送付) ・請求書発行日の指定不可	・コンビニエンスストア ・ゆうちょ銀行	「通常払込料金加入者負担(料金受取人負担)の払込取扱票(赤色)」の払込料金は協会負担
任意の内容を含む書面(級ごとの内訳など)を発行	・請求書(公印付) ・見積書(公印付) ・納品書(公印付)	なし(級ごとの内訳や請求金額のみの記載も可能)	・三井住友銀行	団体にてご負担

Q.12

銀行振込で入金することはできますか？

団体一括決済方式

A

ご入金いただけます。

手数料は団体でご負担いただく旨をご了承ください。また、請求書をご確認のうえ、ご入金額にお間違いがないようにご注意ください。

&lt;振込の際の注意点&gt;

**必ず振込依頼人名欄に会場番号・登録団体名をご記入ください。**  
ご記入がない場合、振込元がわからず入金確認ができないことがあります。

## 振込先

金融機関名 : 三井住友銀行 京都支店  
預金種別 : 普通預金  
口座番号 : 9451630  
口座名義 : (公財)日本漢字能力検定協会  
口座名義カナ : サイエホカジノカクケンリキョウカイ

Q.13

請求書兼払込取扱票(専用の払込票)が届きません。

団体一括決済方式

A

請求書兼払込取扱票(専用の払込票)は検定日の約2週間前に普通郵便でお送りしています。(宛名には団体の名称のみ記載されており、担当者名は記載されていません。詳しくはP.6をご参照ください。)団体内で他の教職員の方が保管されていないかご確認ください。検定日の1週間前になっても届かない場合は、お手数ですが検定日までに協会にお問い合わせください。

Q.14

領収書を発行することはできますか？

A

**団体一括決済方式** の場合

→払込受領証で代用してください。代用が難しい場合は発行を承りますので、協会までお問い合わせください。  
※いかなる理由でも領収書の再発行はいたしかねます。

**志願者個別決済方式** の場合

→志願者自身で「団体受検者マイページ」から領収書を発行することは可能ですが、志願者分を取りまとめて団体宛での領収書の発行はお受けいたしかねます。

# 実施について

## 問題冊子・答案用紙の到着

検定日の数日前までに問題冊子・答案用紙をお届けします。**到着後すぐに内容物を確認し、不足や不備があれば、至急協会までご連絡ください。**また検定日当日までに「準会場の手引き\*」をご一読ください。準会場規程をはじめ、検定運営に関する大切な内容が記載されています。

指定の宅配業者への答案返送の集荷依頼は可能な限り検定日前日までに行ってください。

\*「準会場の手引き」は事前に「団体専用ページ」からダウンロードできます(最新版は検定日の約2週間前から閲覧可能です)。

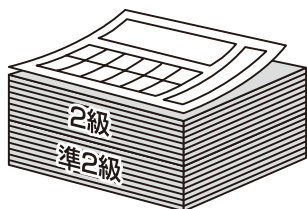
### ● 送付内容 ●

- 答案用紙返送用 着払伝票
- 送付内容物確認書
- 準会場の手引き(志願者30名につき1冊)
- 受検者名簿(級別)(志願者情報「有」申込の場合のみ)
- クラス単位の名簿(志願者情報「有」、30名以上でお申し込みかつご希望の団体のみ)
- 検定実施報告書
- 申し込みをした人数分の問題冊子・答案用紙
- 予備の問題冊子・答案用紙

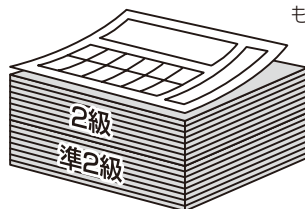
### 答案用紙の梱包順序について ~志願者情報「有」申込の場合~

※受検番号の振り方はP.5の「受検番号の振り方について」をご覧ください。

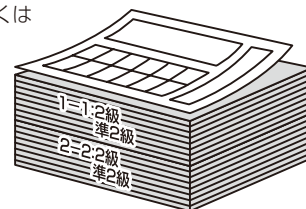
**志願者30名未満の場合**  
受検級ごと、受検番号順(昇順)に梱包



**志願者30名以上かつクラス単位の名簿を「希望する」場合\***  
「受検級ごと、受検番号順(昇順)に梱包」  
もしくは「クラスごとに、受検級ごと、受検番号順(昇順)に梱包」



もしくは



※申込時に選択してください。

問題冊子は上記いずれの場合も級ごとに梱包します。

### 予備の問題冊子・答案用紙について

答案用紙の破損、申込漏れや間違いなどの不測の事態に備えて、予備の問題冊子・答案用紙を同梱しています。同梱する予備の冊数は各級の志願者数によって決まっています(※右表参照)。

他人の答案用紙や会場番号が異なる予備の答案用紙を使用した場合、無効答案とみなし失格となります。ご注意ください。

志願者の追加や受検級の変更がある場合はP.13のQ.9をご確認ください。

#### 変更点

##### ● 志願者数と予備冊数の対応表(級ごと)

志願者数	予備冊数
0名~1名	1冊
2名~10名	2冊
11名以上	3冊

##### ● 送付例(2級を実施する検定日の場合)

級	志願者数	予備冊数
2級	0名	1冊
準2級	1名	1冊
3級	22名	3冊
4級	11名	3冊

## 検定実施

検定日当日の、受検者への説明は「準会場の手引き」に沿って省略せずに行ってください。

「準会場規程」(P.3)を遵守してください。違反した場合は当該準会場の受検者全員を失格とし、協会が主催するすべての検定の準会場認定を取り消すことがあります。

※特に以下の項目にご注意ください。

重要

**1 申し込んだ検定日<sup>\*</sup>を遵守してください。いかなる例外も認められません。**

※問題冊子・答案用紙に記載された検定日

**2 同一級の受検者は、開始時刻と終了時刻を合わせてください。**

**3 日曜日の検定は、公開会場の検定時間に準じて実施してください。**

**4 問題の漏洩防止のため、検定終了後、問題冊子は必ず回収し、検定日の翌日以降に受検者に返却してください。**※検定終了後は、問題冊子・答案用紙をそれぞれ回収してください。

## 答案用紙を協会へ返送

答案用紙、検定実施報告書、受検者名簿(志願者情報「有」の場合のみ)に記入漏れがないかを確認し、問題をお届けした時のダンボール箱に入れます。検定実施報告書は必ずコピーをとり、団体控えとして手元に残してください。ダンボール箱の外側の短辺に文章検とわかるよう㊦と記入し、答案用紙返送用 着払伝票<sup>(\*)</sup>を貼って、検定日当日中に、答案用紙等の返送物を漏れなく協会へ返送してください。

**問題の受け取りから答案返送までに紛失・盗難等が発生しないよう取り扱いにご注意ください。**

発送するまでに数日が経過した答案については、解答の正当性に疑義が生じるため、無効答案と判断し失格となる場合があります。

※協会からお送りした着払伝票をご使用の場合に限り送料はかかりません。その他の方法をご利用の場合、答案返送料は団体でご負担ください。

※取扱店のコンビニエンスストアからも発送できます。

※検定日当日中に集荷を依頼することも、営業所(または取扱店)に持ち込むことも難しい場合は、鍵のかかる場所で厳重に保管し、遅くとも検定日翌日中には発送してください。

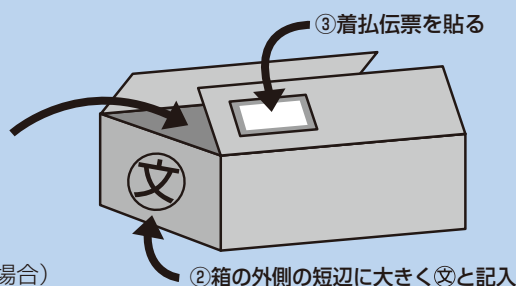
※欠席者・失格者(途中退室含む)の答案は返送不要です。

### 返送内容

①返送物を漏れなく入れる

- 受検者分の答案用紙
  - 検定実施報告書
  - 受検者名簿(級別)
- (志願者情報「有」申込の場合)

※答案の送り漏れにご注意ください。  
無効答案と判断され失格になる場合があります。



## 問題冊子の返却

問題冊子は検定日の翌日以降に受検者へお渡しください。

なお、検定日の約5日後から文章検ホームページで標準解答を公開します。

## 実施についてのQ &amp; A

## Q.1～Q.9

## Q.1 問題冊子・答案用紙はいつ送られてきますか？

- A 検定日の数日前にお届けします。届きましたら、宛名に間違いがないか確認のうえ、開封してください。内容物に不足がないか確認し、検定日まで鍵のかかる場所で厳重に保管してください。  
※発送日の変更や到着日時の指定はできません。

## Q.2 問題冊子・答案用紙はどのような形状、梱包になっていますか？

- A 問題は冊子形式です。問題冊子と答案用紙はそれぞれ別に梱包されます。志願者が30名以上で申込時にクラスごとの梱包を希望された場合は、問題冊子は受検級ごと、答案用紙はクラスごと\*に梱包されます。  
※「クラス単位の名簿」と同じ並びになっています。  
なお、学年・クラスの登録がなかった受検者の答案用紙は、答案用紙の束の先頭にまとめて梱包されます。  
※クラスごとの梱包を希望された場合も、問題冊子は受検級ごとに梱包されます。

## Q.3 問題冊子・答案用紙の取り扱いについて、どのような点に気をつければよいですか？

- A 受検者には問題冊子、答案用紙をそれぞれ配付してください。答案用紙にはミシン目が入っていますが、切りはなさないようご注意ください。検定終了後、答案用紙は協会へ送付し、問題冊子は一旦回収し検定日の翌日以降に受検者に返却してください。

## Q.4 欠席をした場合はどうなりますか？

- A 欠席者には検定日の翌日以降に、問題冊子・答案用紙をお渡しください。標準解答は検定日の約5日後から文章検ホームページで公開、約40日後に受検者の検定結果資料と一緒にお届けします。検定料の返金や受検機会の繰り越しはできません(検定料の払込前に判明した場合でも検定料は発生します)。ただし、団体担当者が特別欠席\*の申請手続きを行い、協会が審査し承認した場合に限り、該当者の受検機会を次回以降の団体受検に繰り越すことが可能です。  
※特別欠席制度の申請および条件の詳細はP.17以降をご確認ください。

## Q.5 天災や感染症(例:インフルエンザ、新型コロナウイルス)などにより休校・学年閉鎖・学級閉鎖となった場合はどのようにしたらよいですか？

- A P.18のQ.5をご確認ください。

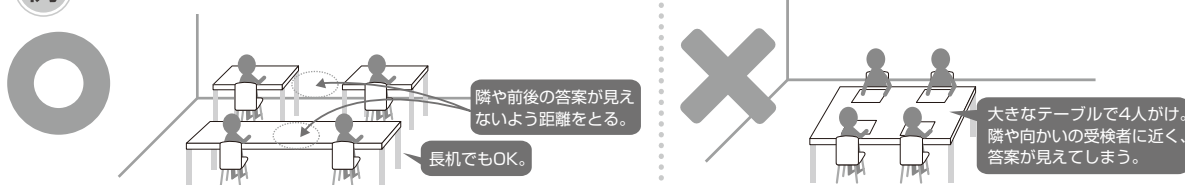
## Q.6 検定は級ごとに違う教室で実施しなければいけませんか？

- A 同じ教室で実施できます。ただし、2級は90分間、準2級～4級は60分間と検定時間が異なりますのでご注意ください。  
※検定日が同じであれば、漢検と同時に文章検を実施することも可能です。

## Q.7 会場設営においてどのような点に注意すればよいですか？

- A** 他の受検者の答案が見えないよう距離をとるとともに、検定の実施にふさわしくないものがある場合は、はずしていただくか上から模造紙を貼るなど、受検者の目に触れないようにしてください。  
また、受検者が検定に集中できるよう静かな環境設定を心がけてください。  
※団体で取り組まれている感染症予防対策に応じた座席の設定をお願いします。

例



## Q.8 答案用紙を破損した受検者がいます。どのようにしたらよいですか？

- A** 予備の答案用紙を使用してください。  
※予備を使用する際は、必ず受検級を確認してから受検者に渡してください。  
異なる級の答案用紙で解答した場合は無効となります。

### 解答開始前、もしくは残り時間に余裕があるなど 差し替えが可能な場合

- 1 該当級の予備答案用紙を受検者に渡し、検定時間内に氏名等や解答を鉛筆で転記させてください。
- 2 検定終了後に、受検番号・氏名・生年月日・性別が転記されているかを確認のうえ、級別・受検番号順に整理して返送してください。  
※ 破損した答案用紙は返送不要です。

### 解答終了後、もしくは検定時間中で残り時間が 少ないなど差し替えが不可能な場合

- 破損した状態のまま返送してください(破損していることがわかるように答案用紙の束の1番上に置く)。  
※破損した答案はテープ等で補修をせずお送りください。  
※検定時間終了後に転記した答案は無効となるため、絶対にさせないでください。  
※会場番号・受検番号・氏名・生年月日が判読できないほどの破損の場合は、上記項目を記入したメモを添付のうえ返送してください。

## Q.9 申込間違い(受検級の間違い／申込漏れ)をしていた受検者がいます。どのようにしたらよいですか？

- A** 予備の答案用紙を使用して受検してください。ただし、**会場番号の異なる予備の答案用紙や他人の答案用紙を使用した場合、無効答案とみなし失格となります。**ご注意ください(P.10「予備の問題冊子・答案用紙について」を参照)。  
対応方法の詳細については、問題冊子・答案用紙と一緒にお届けする「準会場の手引き」をご確認ください。協会への事前連絡は必要ありません。

注意

志願者情報「有」で申し込んだ場合、答案用紙に志願者の氏名・生年月日が印字されます。万一、印字された方とは異なる別人が受検した場合、その答案は無効となり採点ができませんのでご注意ください。

### 締切後の受検級の変更・受検者の追加などで検定料に不足金が生じた場合は…

検定実施報告書(検定実施後に記入／答案返送時に同梱)に記載していただいた内容をもとに協会にて不足金を算出し、結果送付の時期に不足金専用の請求書兼払込取扱票をお送りします。請求書兼払込取扱票に記載されている期日までに払い込んでください。

※この場合、検定運営手数料・申込代行手数料は差し引かれず、検定料全額を請求いたします。あらかじめご了承ください。

### 受検級を変更した際の不足金について

検定料の異なる上位級へ変更した場合(例:準2級→2級／4級→3級)は不足金を請求いたします。

**例** 4級(3,500円)▶3級(4,500円)▶▶1,000円の差額を請求

※検定料の異なる下位級へ変更した場合(例:2級→準2級)差額のご返金はできませんのでご了承ください。

※検定料が同額の級へ変更した場合(例:3級→準2級)不足金は発生しません。

# 結果について

## WEB合否結果公開

約30日後

「団体専用ページ」で合否結果を確認できます。  
 (WEB合否結果公開までの日数はあくまで予定ですので前後する場合があります)

WEB合否結果公開予定日や  
 検定結果資料発送予定日は、  
 「団体専用ページ」で確認できます。

### ココが便利！

- 級別の合格状況、受験者の得点や合否、合格認定日を確認することができます。
- 結果のデータをダウンロードして活用することができます。

#### 【ダウンロードしたデータの活用事例】

- ・ Excel(エクセル)ファイルで生徒の受験履歴を一括管理
- ・ 合否結果を一行ずつ印刷して、該当の受験者に配付

### <WEB合否結果・結果ダウンロード画面 イメージ>

「団体専用ページ」左側のメニューの「合否結果照会」から該当の検定日を選択します。



### ■ 合否結果照会(級別一覧)画面(イメージ)



### ■ 合否結果照会(受験者一覧)画面(イメージ)



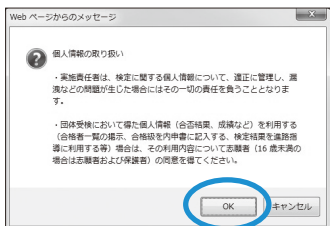
### ■ 結果ダウンロード方法

- ① 各画面で「ダウンロード」ボタンを押します。
- ② ポップアップのメッセージ(個人情報の取り扱い)を確認し、「OK」ボタンを押します。
- ③ CSVファイルでデータが出力されます。

※ダウンロードするデータには個人情報が含まれます。お取り扱いには十分ご注意ください。

「合否結果照会」画面は過去1年分の合否結果が確認できます。  
 それ以前の結果については「過去情報照会(級別一覧)」「過去情報照会(受験者一覧)」からご確認ください。  
 ※「過去情報照会」画面では過去6年分の情報が確認できます。

### ② ポップアップ画面(例)



### ③ 出力後のCSVファイル(受験者一覧)

1	会場番号	会場名	検定名	検定日	会場	級	受験番号	氏名	カナ氏名	生年月日	性別	学年	組	得点	合否	合格認定日	認証番号
2			文章検	2014/7/11	準会場	4級									合格	2014/7/29	
3			文章検	2014/7/11	準会場	4級									合格	2014/7/29	

## 検定結果資料到着

約40日後

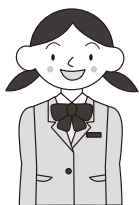
団体担当者宛に検定結果資料をお届けします。

※画像はすべてイメージです。



団体担当者用

送付内容



受験者用



## ■ 受験結果名簿

受験者の合否結果を一覧にしています。  
成績の把握に便利です。

※個人情報のお取り扱いは十分にご注意ください。  
※お申し込みの際、クラス単位の受験者名簿を希望された場合は、受験結果名簿も級別・クラス別の2種類をお送りします。

## ■ 文章検指導ポイント集

ホームページからダウンロード

実際によくある  
答案の例を出し、  
その減点理由と、  
書き直し方の例  
を示しました。  
指導の際にご活用  
ください。


<https://www.kanken.or.jp/dan-sprt/>

## ■ 結果分析表・正答率分析表

📌 **ここが便利** 級別・クラス別梱包に関わらず、申込時に学年・クラスを登録した場合は、学年・クラス別に集計を行います(学年・クラスは最大18種類まで表示)。

一問ずつの正答率を掲載しています。受験者の得意・得意な分野や問題がわかり、今後の指導に役立ちます。

## ■ 標準解答(全級)



## ■ 受験者全員に

## ■ 検定結果通知



## ■ 申込者全員に

## ■ 標準解答



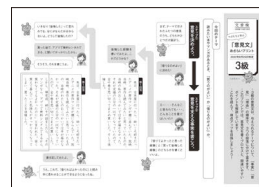
## ■ 合格者に

## ■ 合格証書・合格証明書(2枚)



## ■ 申込者全員に

## ■ つぶたろと学ぶ「意見文」おさらいプリント



## ■ 結果資料配付用封筒について

受験者に検定結果資料を配付する際にご利用いただける専用封筒をご用意しています(無料)。検定のお申込時にご希望いただければ、検定結果資料に同梱してお届けいたします。ただし、検定結果資料は種類ごとに梱包していますので、お手数ですが団体担当者にてご封入をお願いします。

## ■ 検定結果資料の梱包順序について ~志願者情報「有」申込の場合~

答案用紙(P.10参照)と同じ並び順ですが、種類(検定結果通知・合格証書・合格証明書)ごとの梱包となります。

## 結果についてのQ&amp;A

## Q.1～Q.5

## Q.1 「団体専用ページ」のパスワードがわかりません。

A

## ●インターネットで漢検または文章検を申し込んだことがある場合

ログイン画面の「パスワードをお忘れの方はこちら」へ進み、仮パスワードの発行を行ってください。ご登録のメールアドレスへ仮パスワードが届きます。到着後、72時間(約3日)以内にログインし、任意のパスワードに変更してください。

## ●インターネットで漢検または文章検を申し込んでいない／わからない場合

ログイン画面の「会場番号・パスワードをお忘れの方はこちら」から漢検ホームページのお問い合わせ画面へ進み、お問い合わせフォームから協会へご連絡ください。

※仮パスワードは団体の担当者にしかお伝えすることができません。

## Q.2 インターネットの合否結果に表示されている名前が「●」に置き換えられているのはなぜですか？

A

インターネットで表示される氏名にはJIS2004第1・第2水準の漢字を使用しているため、それ以外の漢字は「●」に置き換えています(インターネットご利用環境によっては、この限りではありません)。

氏名の表示に「●」を含んでいる場合も、検定結果資料の氏名は申込時の漢字または検定日当日に記入・訂正された漢字が印字されます。

## Q.3 「令」なのに「令」となっています。(「怜、玲、鈴」等の「令」を含む漢字も同様)

A

「令」と「令」はフォントのデザインの違いによるもので、本来同じ漢字です。そのため区別して登録することができません。特定のフォントを強く希望される場合は、検定結果資料到着から1か月以内に「準会場の手引き」に付いている「氏名訂正依頼書」に必要事項をご記入のうえ、訂正を希望される書類一式とともに協会へお送りください。

※「氏名訂正依頼書」は、「団体専用ページ」からもダウンロードできます。

## Q.4 検定結果資料の一部が見当たりません。

A

検定結果資料は連続して出力されるため、前後が重なっている場合があります。以下の点をお確かめください。

[配付前] 前後の受検者の検定結果資料と重なっていないか

[配付後] 誤って他の受検者に配付していないか

再度確認しても見当たらない場合は、検定結果資料到着から1か月以内に協会にお問い合わせください。

## Q.5 合格証明書を再発行できますか？

A

有償(B5サイズ1枚につき発行手数料1,000円)で再発行できます。

申請方法はホームページにてご確認ください。

(<https://www.kanken.or.jp/kanken/result/certificate-reissue/>)

※合格証書、検定結果通知は再発行できません。

※団体受検された方も個人受検マイページからのご申請となります。申請方法がご不明の場合は受検者または保護者の方より協会へお問い合わせください。

申請方法は  
こちらから



# 文章検 特別欠席制度について

申請締切日 検定日10日後

団体受検欠席者のうち、【表】の欠席理由に該当すると認められた欠席者の受検機会を、同一団体・同一検定(文章検)内での受検に限り、次回\*以降に繰り越すことができる制度です。\*欠席後、3週間以内に締切日のある日程を除く

この制度を利用するには、必要書類を申請締切日(検定日10日後)までにご提出のうえ、協会の承認を得る必要があります。

提出された書類に不備がある場合や、協会での審査の結果、欠席理由に該当しないと協会が判断した場合は、受検機会を繰り越すことはできません。あらかじめご了承ください。

●【表】特別欠席の対象となる欠席理由 (前提条件: 申し込まれた検定日の協会締切日より後に欠席することが決定した場合に限る)

	欠席理由	詳細	必要書類	留意事項
1	忌引き	葬儀・通夜のみ適用(親等・日数の適用範囲は各団体の定める基準に準ずる。法事は対象外)	<b>特別欠席申請書</b> (WEB申請の場合は不要。郵送申請の場合は、「団体専用ページ」からダウンロード。)	
2	感染症	学校保健安全法施行規則第三章第十八条に定められた感染症に感染し、検定当日出席停止となった場合(P.18のQ.4参照) 【申請しても特別欠席の対象とならない例】 ・検定日が出席停止の期間と重なっていない場合 ・風邪、骨折など上記規則に定められていないその他の傷病 ・本人が感染していない場合 ※感染症(インフルエンザ、新型コロナウイルス等)により休校・学年閉鎖・学級閉鎖となった場合は、本人が感染していなくても同一団体・同一検定(文章検)内での受検に限り、欠席者の受検機会を次回以降に繰り越します。申請方法や必要書類につきましては、P.18のQ.5をご覧ください。	※特別欠席/同意書(「団体専用ページ」からダウンロード)は協会への提出不要ですが、欠席理由の通知および必要時の診断書提出について欠席者・保護者からの同意を示す大切な資料です。お取りまとめいただき、結果送付の時期まで(繰越権利の付与が確認できるまで)保管いただくようお願いいたします。	・病名だけで判断しかねる場合、診断書のご提出をお願いすることがあります。
3	公式大会への出場	【申請条件】《下記、3項目をすべて満たしている場合に限る》 1. 大会主催者が、国・地方自治体、および全国的に組織された団体であること (公財)日本スポーツ協会、(公財)全国高等学校体育連盟、(公財)日本中学校体育連盟、(公社)全国高等学校文化連盟、教育委員会など 2. 検定日当日に在籍している学校の代表として出場する場合 3. 申し込まれた検定日の協会締切日より後に大会出場が決定した場合 【申請しても特別欠席の対象とならない例】 ・監督・コーチなど引率の教職員、保護者など生徒以外の欠席者 ・大会要項に記載のない補欠・マネージャーなど選手以外の欠席者 ・親善試合・練習試合など一日限りのもの、市内大会など限られた地域内の試合で上位大会につながらないもの、強化合宿、記録会 ・習い事やクラブチームで個人的に出場する場合 ・正規の部活動ではなくサークル・同好会からの出場	<b>特別欠席申請書</b> (WEB申請の場合は不要。郵送申請の場合は、「団体専用ページ」からダウンロード。)  大会要項の協会への提出は不要です。	
4	入試・就職試験・外部(就職先・進学先など)の実習	その試験・実習に参加しなければ、進級・進学・就職ができない場合 【申請しても特別欠席の対象とならない例】 ・体育祭や補習、追試など校内で日程を決めるもの(P.19のQ.9参照) ・オープンキャンパスや進路相談会など任意参加のもの	<b>特別欠席申請書</b> (WEB申請の場合は不要。郵送申請の場合は、「団体専用ページ」からダウンロード。) + <b>試験・実習の概要が確認できる文書</b> (*1)	(*1) (下記1~3は必須項目) 1. 試験・実習の概要 2. 文書発行者 3. 試験・実習の日時

## ●「特別欠席」申請から承認までの流れ

- 申請に必要な書類を申請締切日までに協会へ提出する。  
・検定日以前にわかっている場合はなるべくお早めにご申請ください。  
・申請はWEB申請フォームもしくは郵送でお願いします。  
**変更点**
- 協会にて審査を行う。  
・承認されなかった場合は、申請後2週間以内に電話にてご連絡いたします。  
※申請後2週間たっても協会からの連絡がない場合、申請いただいた内容で承認されています(3をご覧ください)。
- 「団体専用ページ」から繰越者の情報が確認できるようになる(結果送付日から)。  
・今回承認された繰越者のみでなく、過去に繰り越しの権利を取得し、有効期限内の未行使権利をもつ繰越者も確認することができます。  
・画面上で確認するだけでなく、繰越者に通知するための「繰越通知書」を印刷することもできます。  
※申請され、非承認の連絡がなかったにもかかわらず、繰越者の情報(氏名)が表示されていない場合は、検定結果資料到着から1か月以内に協会までお問い合わせください。

## 申請締切日 検定日から10日後

### 申請方法



- WEB** 申請フォームからご申請いただけます。  
「入試・就職試験・外部(就職先・進学先など)の実習」の申請に必要な書類は、ひとつのPDFファイルにまとめ、申請時に添付してください。
- 郵送** 封筒の表に「特別欠席申請」と明記し、協会本部(京都)宛にお送りください。  
※申請書は「団体専用ページ」からダウンロードが可能です。

特別欠席が承認された欠席者のことを以降「繰越者」と呼びます。

## 繰越期限 欠席した検定日より約1年

(次年度同一検定回の最終日程まで)

(例) 2026年1月30日(金)で承認された場合は、  
2027年2月14日(日)まで使用可能

●繰越者を含む申込方法はP.7をご参照ください。

**Q.1 検定を申し込んだ後、協会申込締切日までに欠席が判明した場合はどのようにしたらよいですか？**

**A** 「インターネット申込(団体一括決済方式の場合のみ)」は、協会の申込締切日当日までは志願者の取り消しが可能です。「団体専用ページ」の「申込内容確認・修正」画面から変更してください。

**Q.2 申請をすれば必ず承認されますか？**

**A** すべてが承認されるわけではありません。申請書類をもとに、協会にて審査を行います。その結果、学校が公欠と認めている理由でも承認できない場合があります。  
※承認されなかった場合は、申請後2週間以内に電話にてご連絡いたします。

**Q.3 申請書類が申請締切日(検定日10日後)までにそろいません。(申請書類の一部を先に送ってもよいですか?)**

**A** 申請締切日までに協会へご連絡いただいた場合に限り、手続きに間に合う範囲で受け付けます。申請書類は必ずまとめて提出してください。また、事前のご連絡がないまま、申請締切日を過ぎて書類が到着した場合、審査対象外となる場合があります。  
※締切日までの提出が間に合わない場合は、締切日までにお問い合わせフォームからご連絡ください。

**Q.4 学校保健安全法施行規則第三章第十八条に定められた感染症とはどのようなものですか？**

**A** 以下の第一種から第三種に該当する感染症のことを指します。

第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)、中東呼吸器症候群(病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。))及び特定鳥インフルエンザ(感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成十年法律第百十四号)第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。次号及び第十九条第二号イにおいて同じ。)
第二種	インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く。)、百日咳、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に、中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))であるものに限る。次条第二号チにおいて同じ。)、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎
第三種	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症(A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病、マイコプラズマ感染症 など)

**Q.5 天災や感染症(例:インフルエンザ、新型コロナウイルス)などにより、休校・学年閉鎖・学級閉鎖となった場合はどのようにしたらよいですか？**

**A** 天災や感染症(例:インフルエンザ、新型コロナウイルス)などにより休校・学年閉鎖・学級閉鎖となった場合は、同一団体・同一検定(文章検)内での受検に限り、欠席者の受検機会を次回<sup>\*</sup>以降に繰り越すことができます。繰越期限は承認された検定日より約1年です。申請方法や必要書類につきましては、休校などが決定した時点で協会までお問い合わせください。  
また、天災などの影響で受検者が安全に検定会場へ来ることが困難な場合は、協会までお問い合わせください。  
ただし、いかなる事情でも、届いた問題を用いて検定日以外の日に検定を実施した場合は、受検者全員が失格となりますのでご注意ください。  
※欠席後、3週間以内に締切日のある日程には繰り越せません。  
△ 天災等が発生した場合、文章検ホームページ「お知らせ」に対応方法を掲載することがあります。

**Q.6 外部施設(児童相談所での一時保護や民間シェルター等)にいるため、検定日当日に検定会場へ来られない受検者がいます。審査対象になりますか？**

**A** 申請締切日までに協会へお問い合わせください。

### Q.7 校内の選手選考が協会締切日後だった場合も、審査対象になりますか？

A 審査の対象となります。いつ校内選考が行われたかを顧問の先生にご確認のうえ、大会に出場することが決まった日を記入ください。

### Q.8 開会式や移動日は審査対象になりますか？

A 審査の対象となります。審査の過程において、開会式への出席や前日移動を証明できるもの(宿泊証明など)のご提出をお願いすることがあります。

### Q.9 欠席理由4「入試・就職試験・外部の実習」には、校内の定期試験なども含みますか？

A 含みません。校内での定期試験、実習や定期試験の追試などは、進級・卒業要件であっても、学校行事と同様に審査対象外です。おそれいりますが、校内でのスケジュール調整をお願いいたします。

### Q.10 欠席理由4における試験・実習の概要が確認できる文書とは、どのような内容があればよいですか？

A 検定日と試験や実習などの日程が重なっていることを証明する文書が必要です。試験や実習への参加を要請する内容で、文書の発行者と試験や実習日時の記載がある書面をご用意ください。

### Q.11 卒業(転校)する場合は、進学先(転校先)の学校へ繰り越せるのですか？

A 繰り越してできません。繰り越しの権利は、同一団体で受検する場合のみ有効となります。個人受検や会場番号が異なる団体への繰り越しもできません。

### Q.12 繰り越せる検定日に制約はありますか？

A 欠席した検定日から3週間以内に協会締切日のある検定日には繰り越せません。また、繰越期限は欠席した検定日より約1年です。

### Q.13 文章検から漢字検定に繰り越すことはできますか？

A 繰り越してできません。繰り越しの権利は、同一検定を受検する場合のみ有効となります。

### Q.14 申請者が5名以上いる場合、申請書にはどのように記入すればよいですか？

A 5名以上いる場合は、検定日・団体情報の記入と各責任者の署名をした申請書をコピーして使用してください。または、申請書の名前の欄に「別紙参照、●名申請」と記入し、申請者の一覧を添付してください。  
※一覧を作成する場合は、

申込級	名前	フリガナ	生年月日	欠席理由
-----	----	------	------	------

をきれいに記入してください。  
また、複数ページにまたがる場合は、各ページの1行目に見出し(タイトル行)を記載してください。

### Q.15 検定を申し込む際、繰越者の受検級を変更できますか？

A できます。繰越者が受検級を変更する場合の検定料や繰越者を含む申込方法はP.7をご確認ください。